

「2019年度秋季研究発表大会」のお知らせ

更新：2019/8/15

第28回 国際P2M学会 研究発表大会 The 28th Congress of International P2M Association

「共創時代を拓くシステムデザインとP2M」

2019年度の国際P2M学会秋季研究発表大会を、下記の要領にて開催いたします。大会テーマは、「共創時代を拓くシステムデザインとP2M」です。つきましては、会員の皆様の研究発表を募集いたします。発表ご希望の会員は、申し込み要領をご参照の上、期限までにお申込みください。また本大会は、午後に予定しています基調講演・パネルディスカッションのみの一般参加も受け付けております。奮ってご参加ください。

1. 大会テーマ

「共創時代を拓くシステムデザインとP2M」

2. 開催日時・場所

- ・開催日：2019年10月6日（日）
- ・開催場所：慶應義塾大学 三田キャンパス 東館（東京都港区三田2-15-45）
- ・懇親会：慶應義塾大学 三田キャンパス 南館「ザ・カフェテリア」
- ・交通アクセス：

*案内図：<https://www.keio.ac.jp/ja/maps/mita.html>（建物⑬）

*JR 田町駅西口、都営地下鉄三田駅 A8 出口、都営地下鉄赤羽橋駅赤羽橋口よりアクセス
「慶應三田キャンパス東館」で検索

3. 開催団体に関する情報

- ・主催：一般社団法人 国際P2M学会
- ・共催：慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科
- ・会長：国際P2M学会会長 山本秀男
- ・実行委員長：慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 教授 中野 冠
- ・実行副委員長：慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 教授 高野研一
- ・開催校事務局：慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 特任助教 中本亜紀

※一般社団法人 国際P2M学会

国際P2M学会事務局

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター(平日：10時～17時)

TEL:03-6824-9371/FAX:03-5227-8631

4. 大会趣旨

従来、プロジェクト&プログラムマネジメントは、比較的規模の大きいビジネスに活用されることが多かった。しかし、昨今では持続可能な社会実現への活用にも貢献できると考えられ、その取り組みが始まりつつある。とりわけ、地球環境問題、エネルギー問題、持続可能な都市構造問題、少子高齢化問題、未来の交通問題などの社会問題は、大規模かつ複雑なシステムの問題となる。これら大規模複雑なシステムの実現・維持・問題解決には、先見的思考、学際的思考、包括的思考が必要とされ、システムデザインとプロジェクト&プログラムマネジメントが欠かせない。すなわち、システムをサブシステムや要素に分解して、システム全体と要素を関係付けてそれらのゴールを定めて設計するシステムデザインが必要であると同時に、サブシステムや要素を開発し、長期にわたり改良を続けるためのプロジェクトとそれらを束ねるプログラムのマネジメントが重要になる。その際、エコシステムやオープンイノベーションなど、「共創」のマネジメントが一段と重要になる。

本大会では、システムデザインとプロジェクト&プログラムマネジメントの関連性を議論し、今後、国際 P2M 学会が果たすべき役割を議論する場としたい。

5. 大会スケジュール：（※都合により、プログラムに変わる場合があります。9月中旬頃に確定予定です。）

9:40 - 12:00 研究発表

12:00 - 13:00 昼食休憩

13:00 - 13:30 開会挨拶（会長）、発表奨励賞発表、授賞式

13:30 - 14:20 基調講演 1

14:20 - 14:30 休憩

14:30 - 15:20 基調講演 2

15:20 - 16:10 基調講演 3

16:10 - 16:20 休憩

16:20 - 17:50 パネルディスカッション

17:50 - 18:00 閉会挨拶（実行委員長）

18:00 - 18:15 移動

18:15 - 19:50 懇親会

6. 基調講演

講演 1：「令和時代の社会設計手法（New P2M Principles）」

講師：吉田邦夫 氏 国際 P2M 学会名誉会長、東京大学名誉教授

講演 2：「東海道新幹線・いかに生まれ、成功したか」

講師：谷口智彦 氏 内閣官房参与、慶應義塾大学大学院 教授

講演 3：「空飛ぶクルマのシステムデザイン」

講師：中野 冠 氏 慶應義塾大学大学院 教授

7. パネルディスカッション

テーマ：「システムデザインと P2M による共創」

モデレータ：

清田 守 氏 筑波大学 教授、(株)リコー シニアスペシャリスト

パネリスト（順不同）：

谷口智彦 氏 内閣官房 参与、慶應義塾大学大学院 教授
中野 冠 氏 慶應義塾大学大学院 教授
今村 亘 氏 特許庁 審査長 デザイン PT リーダー
鳥羽瀬一英 氏 AZAPA(株) 執行役員 第二事業本部長
吉野良成 氏 日本ユニシス(株) 上席スペシャリスト

8. 研究発表スケジュール：

- ・9月下旬に URL を掲載予定。
- ・発表トラックは、投稿論文の内容と状況を考慮の上決定致します。
- ・変更がある場合は、当 Web サイトに最新版を掲載いたします。

9. 研究発表大会参加関連費用

- ◆ 参加費用 : 事前に下記学会銀行口座宛に振込下さい。(締め切り 2019 年 9 月 20 日(金))
 - 会員 : 社会人学生、発表代表者 : 10,000 円 【当日払い: 11,000 円】
 - : 学生・大学院生(会員) : 3,000 円 【当日払い: 4,000 円】
 - 非会員 : 社会人 : 13,000 円 【当日払い: 14,000 円】
 - : 学生・大学院生 : 5,000 円 【当日払い: 6,000 円】

※筆頭著者で学会へ未登録の方は、登録料として 12,000 円(学生 6,000 円)が必要です。

※会員として参加される方は、年会費の事前納入をお願いします。

- ◆ 基調講演・討論会のみ参加費用

非会員のみ : 3,000 円

- ◆ 懇親会費用 : 4,000 円 【当日払い: 5,000 円】

上記大会参加費と合わせて学会銀行口座に事前振込下さい。

- ◆ 振込み先銀行口座

三井住友銀行 (銀行コード : 0009)
飯田橋支店 (店番号 : 888)
普通預金 口座番号 : 7098073
口座名義 一般社団法人 国際 P2M 学会

※大会参加申し込み Web 画面で「領収書 ●必要」を選択した方には、大会開催後、領収書(PDF)をメールで送付いたします。

- ◆ 留意事項

※ 振込済みの参加費・懇親会費は不参加の場合でも返金できません。

※ 事前振込み以外の方で、9 月 28 日以降参加キャンセルされる方には、後日、懇親会参加費全額をお支払い頂きます。あらかじめご了承ください。

10. 参加申し込み

- ◆ 研究発表大会参加お申込みはこちらから

(発表者の方もこちらからお申込み登録をお願いします)

http://www.iap2m.org/regist_taikai.html

- ◆ 参加登録におけるご参考情報

お使いのブラウザが Internet Explorer の場合、バージョンが新しいと無応答になる場合があります。

次の操作を参考にして下さい。

<http://www.iap2m.org/pdf/ie201309.pdf>

11. お問い合わせ先

国際 P2M 学会事務局

http://www.iap2m.org/regist_p2moffice.html

12. 論文を投稿する方へのご案内

■論文要旨の提出期限及び提出方法

提出期限 : 2019 年 8 月 ~~6~~ 13 日 (火) 18 時 (厳守)

提出方法 : 論文要旨は、WEB 登録画面に従い入力して下さい。

論文要旨受付 (web 登録) : 国際 P2M 学会事務局 登録フォーム

査読選択 : 論文査読を希望される方は、論文要旨提出時に査読希望 ●有 を Web 画面で選択してください。

http://www.iap2m.org/regist_smallcongress.html

■研究論文の提出期限及び提出方法

提出期限 : 2019 年 9 月 6 日 (金) 18 時 (厳守)

提出方法 : 研究論文の提出方法は、発表登録時にご入力頂いたメールアドレス宛に、編集委員から別途連絡します。なお、お手数ですが「@iap2m.org」のドメインから届くメールが迷惑メールフォルダに入らないようにご設定ください。

■論文枚数 : 予稿論文は最大 20 ページを上限にお書き下さい。

■論文形式

論文投稿規程を遵守し作成してください。

論文投稿規程 : <http://www.iap2m.org/pdf/text4.pdf>

書式サンプル : <http://www.iap2m.org/file/sample.doc>

※実務者論文はパワーポイント資料のみの投稿も可としますが、この場合、査読は行いません。

■発表方法 : 発表者は、研究発表用プレゼン資料を、USB メモリに保存の上、当日お持ち下さい。(事前送付は不要です。事務局で事前にお預かりいたしておりません)

個人のパーソナル・コンピュータをお持ちいただいても結構です。

■発表時間 : 発表 15 分以内、質疑応答 5 分を予定しています。

投稿された論文数によって発表時間等は変動する可能性があります。

詳細は 9 月中旬以降に学会ホームページ上で発表しますので、ご確認ください。

■発表奨励賞 : 各トラックから発表奨励賞の表彰者を選出し、表彰します。

■注意事項

発表論文の筆頭著者・発表者は学会会員が要件のため、会員未登録の方は大会参加費とは別に次の会員登録料が必要です。

◆正会員 : 入会金 2,000 円、2019 年度年会費 10,000 円 計 12,000 円
(社会人学生を含む)

◆学生会員 : 入会金 1,000 円、2019 年度年会費 5,000 円 計 6,000 円
学会ホームページより会員登録手続きをお願いします。

<http://www.iap2m.org/accept.html>

お問い合わせ先 : 国際 P2M 学会事務局 http://www.iap2m.org/regist_p2moffice.html